

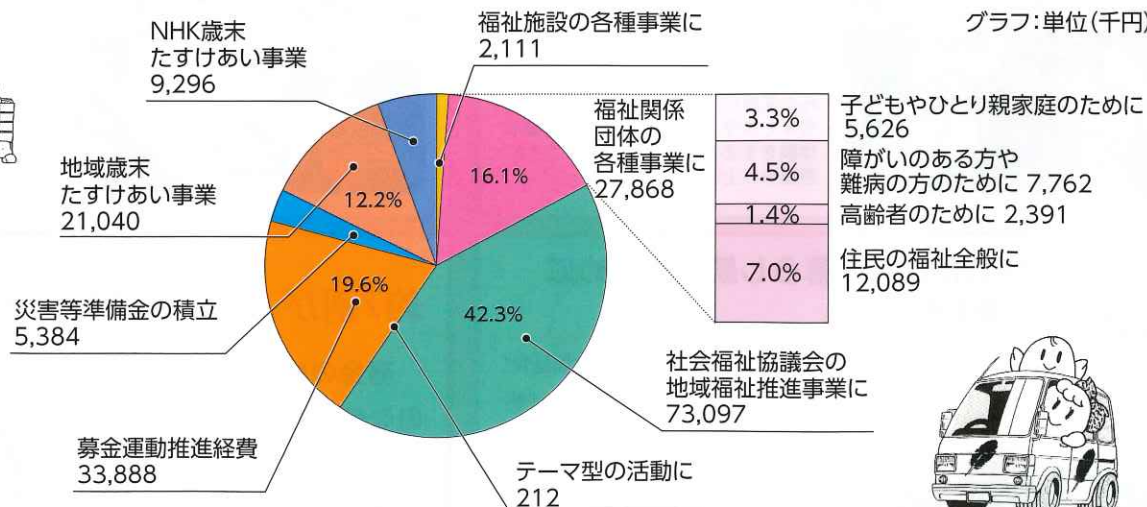
令和6年度共同募金助成結果報告

昨年度の共同募金は、県民の皆様のあたたかいご支援とご協力により、
募金総額は **1億8,032万5,400円** となりました。

ここに厚くお礼申し上げますとともに、助成結果についてご報告させていただきます。(※助成金の一部は繰越金等を充当しています)。



福祉施設への助成 2,111千円 障がい者の自立のための社会訓練、地域との交流事業などに	福祉団体への助成 27,868千円 障がいのある方の社会参加促進支援やボランティアとの交流会、高齢者の生きがいづくり、保育・子育て相談、難病相談などに	社会福祉協議会への助成 73,097千円 ふれあいサロンの運営や福祉マップの作成、地域見守り、移動困難者への生活支援サービス、地域ボランティア活性化、地域子育て支援などに	テーマ型の活動への助成 212千円 地域や社会の解決したい課題を明確化して行う募金活動(テーマ型)により、豪雪地域の高齢者宅の除雪や、地域食堂の起ち上げを支援する活動に
募金運動推進経費 33,888千円 運動資材作成や広報活動、審査会開催、事務局の運営費、全国的に運動を展開するための中央共同募金会分担金などに	大規模災害に備えた積立金 5,384千円 募金総額の3%を上限に積立て、大規模災害が発生した場合、全国から駆け付けるボランティアの活動費や被災した福祉施設の破損復旧などに	地域歳末たすけあい助成 21,040千円 在宅で暮らす高齢者や障がいのある方への給食サービスやお見舞い、地域が主体となて行う、いきいきサロンやふれあい会食会などの地域ふれあい交流などに	NHK歳末たすけあい助成 9,296千円 福祉施設が行う年末年始のふれあい行事、障がいのある方々が就労するための備品整備など地域福祉課題を解決する事業などに



お問い合わせはこちら または、あなたのまちの共同募金委員会へ
社会福祉法人 富山県共同募金会
 〒930-0094 富山市安住町5番21号

Tel 076-431-9800 Fax 076-432-6551
 info@akaihane-toyama.or.jp
<http://www.akaihane-toyama.or.jp>



支える人も支える募金



赤い羽根共同募金

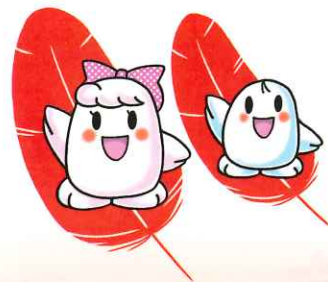


社会福祉法人
富山県共同募金会

令和7年度の目標額 **181,045,000円** 共同募金への寄付には税制上の特典があります。

内訳 ■一般募金 147,045,000円 (福祉施設や団体の事業に29,291,000円/地域福祉推進事業に74,482,000円/災害時に備えた積立に5,273,000円/運動推進経費 37,999,000円)
 ■NHK歳末たすけあい募金 13,000,000円 ■地域歳末たすけあい募金 21,000,000円
 会社など法人の寄付金は、全額損金算入できます。個人の寄付金は、所得税の寄付金控除および住民税の寄付金税額控除が受けられます。詳しくは本会までお問い合わせください。

MAKE TOYAMA STYLE
 BEYOND CORONA, WITH US



笑顔とともに、たくさんの「ありがとう」の声が届いています。



●●●● 寄付者の方々へのメッセージ（令和6年度事業より） ●●●●

共同募金の助成を受けた福祉施設や団体から、たくさんの感謝の声が寄せられていますので、その一部をご紹介します。



高齢者の交流、フレイル予防のために 「ポッチャ大会」

（富山市 富山市老人クラブ連合会）



令和4年度から体験会と交流会を経て、今年度初めて配分金を受けて第1回大会を開催することができました。筋力アップやフレイル予防など、当初の目的通り高齢者の仲間づくりと健康づくりを達成でき、感謝しております。ありがとうございました。



これからも笑顔で暮らしていくために 「交流会活動」

（高岡市 高岡地域精神保健障害者家族会（あしつき会））



親亡き後の課題の理解を深めるための勉強会、それぞれが抱えている思いなどを話し合う座談会を開催しました。「当事者家族」ならではの気持ちや課題について話し合う時間を持つことができました。家族会活動は共同募金配分金に頼る部分が大きく、家族会全体の心の支えや力になっています。共同募金にご寄付いただいた皆様のご協力を大切にしながら活動内容の充実に努めてまいります。



犯罪や非行のない社会のために 「社会を明るくする運動」

（魚津市 魚津保護区保護司会）



毎年7月、社会を明るくする運動でのポスターやのぼり旗を設置しています。犯罪や非行を防止し、犯罪や非行をした人の立ち直りを支えるため、そして安全で安心な明るい地域社会を築くために活用させていただいています。



子どもたちの異年齢交流を深めるために 「ひみつ子ふれあいキャンプ」

（氷見市 氷見市児童クラブ連盟）



自然に触れ合う機会の少なくなっている子どもたちに、キャンプを通して、自然に親しむと同時に、異年齢の仲間との集団生活を体験して、お互いにいたわり慈しむ心を育てることができました。皆様からのご支援に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。



子ども達の思いやりを育むために 「2024年度 児童リーダー交流会」

（滑川市 滑川市児童クラブ連合会）



市内の子ども達が集い、ニュースポーツなど集団での活動とおして交流を深めました。また、子ども達が集団で活動を行う中で、自主性や責任感、相手を思いやり協力する心を育む良い機会となりました。皆様の温かいご支援のおかげで開催できました。ありがとうございました。



おもちゃを大切にすることを育むために 「おもちゃ修理・おもちゃ工作教室・各種勉強会」

（黒部市 黒部おもちゃ病院ピノキオ）



おもちゃの修理を通して、子どもたちに物を大切にする心を育むために活動しています。工作教室では、親子で簡易地震計を作りました。おもちゃの仕組みを理解し、ものづくりの楽しさを知ってもらいたい機会となりました。温かいご支援をありがとうございます。



心がつながる温かい地域を目指して 「ミニ集会・更生保護事業」

（砺波市 砺波市更生保護女性会）



市内全地区でミニ集会を開き、地域の皆さんと犯罪や薬物依存症について学習しています。参加者は自分のこととして受け止め、相手の気持ちに寄り添って接することを大事にしていこうと思われた様です。この温かい気持ちがさらに広がっていくことを願っています。



地域住民の身近な相談相手となるために 「単位民児協ケース検討会」

（小矢部市 小矢部市民生委員児童委員協議会）



単位民児協ケース検討会では、民生委員・児童委員が個別の事例を通して対応方法等の意見交換を行っています。検討会を行うことで課題解決への対応力が向上し、地域の方々が安心して暮らせる地域づくりに役立っています。ありがとうございました。



障害者と地域住民との交流機会のために 「第2回キラキラ☆たびかわ」

（南砺市 ピアサポートあい）



キラキラ☆たびかわが開催でき、障害のある方だけでなくお年寄りや子供連れのご家族など多くの方が飲食、交流をしたりして楽しそうに過ごされ、笑顔も多く見られました。貴重な機会をいただき心より感謝申し上げます。



多機関の関係づくりのために 「専門多職種ネットワーク事業」

（射水市 射水市社会福祉協議会）



令和6年度は医療・福祉・行政分野を対象とした研修会を2回開催しました。多様な問題を解決するため連携が必須な多職種が集い、支援の視点や役割を共有する貴重な機会となりました。参加者からは「具体的な連携のヒントが得られた」「多機関のネットワークづくりが進んだ」と好評を得ました。地域のつながりを育む大切な取り組みにご支援をいただき、心より感謝申し上げます。



地域交流と地域貢献を形に 「デイサービスむらのなか 秋祭り」

（舟橋村 特定非営利活動法人むらのなか）



毎年恒例の秋祭りのために打ち合わせ・会場準備・後片付けを手伝って下さる会員さんへの感謝の気持ちとご来場の皆さんが毎回楽しみにしておられるビンゴの景品等に助成金を使わせて頂きました。地域住民の方の参加も多く、親睦が図れた上に、皆さんの笑顔がたくさん溢れていたこと、今年も無事に開催できたことや貴重な体験をすることが出来たことに感謝申し上げます。



地域交流と地域貢献のために 「地域交流事業 パン作り体験」

（上市町 特定非営利活動法人 ワークハウス創）



町内の小学生に呼びかけ、事業所でパン作り体験やアイマスク体験、手話教室を行いました。毎年好評で、今年は2回に分けてより多くの小学生に参加してもらいました。利用者も毎年楽しみにしており、活動を通して障害者理解と地域交流を深める事ができました。



高齢者の健康づくりのために 「介護予防出前教室事業」

（立山町 利田地区社会福祉協議会）



集落公民館に出向き、専門講師による介護予防に関連した健康教室を開催しました。各集落で日常行われているサロン活動にプラスして、笑いヨガや防災教室を開催することで、生き生きとした取り組みとなりました。ご支援ありがとうございました。



母子寡婦福祉の向上と、孤立防止の為に 「母子寡婦ふれあい会開催事業」

（入善町 入善町母子寡婦福祉会）



町内における母子寡婦福祉の向上と、会員相互の親睦を深め孤立を防ぐことを目的に、研修会と交流会を開催することができました。交流会では皆さんの笑顔を見ることができ、皆さまの温かいご支援のおかげと思い感謝しております。ありがとうございます。



住み慣れた地域で暮らし続けるために 「地区社協支援事業」

（朝日町 朝日町社会福祉協議会）



町内の各地区で地域福祉懇談会を開催し、これから必要な取り組みについて話し合いを行いました。それぞれの地区の現状を踏まえながら、話し合いを深めることで地区社会福祉協議会の活動活性化にもつながりました。温かいご支援ありがとうございました。

約7割が、あなたの町に届いています。

募金の約7割は、あなたの町を良くするために使われています。

残りの約3割は市町村を越えた広域での活動や災害時の備えなどに使われています。

